学校番号	T3029

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（学）現代の社会	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 時事的事象から世の中の動きを感じ取る。
- マスメディアの情報を取捨選択できる能力を身に付け、自ら考える力を持つ。
- 民主主義の意義を考察し、客観的に物事を判断できるようにする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的･多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。
【学びに向かう力、人間性等】現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的･平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会形成を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年		1週間のニュースを読み解く	a:さまざまな媒体のメディア、情報から、本質を読み解くために必要な情報を適切かつ効果的に調べることができる。 b:日ごろのニュースやマスメディアの情報から、物事の本質を読み解き自らの意見を表現できる。 c:日ごろのニュースやマスメディアの情報を、興味深く取り入れようとしている。	小テスト	発問評価	授業態度 授業への取組

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度